

授業のこと, 履

大学に入学して、豊かな教養と確かな専門的知識、技能を身に付けていくにあたり、さまざまな履
学習計画を立てることがとても大切です。全学共通教育の概要、卒業するために必要な授業の選び方、

Webサイトは
こちらから



携帯電話の種類により若干見にくい部分があります。ご了承ください。

修のながれ

修科目の選び方があります。学生の皆さんにとっては、入学直後、まずはこの履修の流れを把握し、履修案内・授業案内（シラバス）の見方、台風の際の対処方法などをまとめて紹介します。

教養科目を履修する学生のみなさんへ

教育推進・学生支援機構では、教養教育をより良くするため、学生による「授業評価アンケート」を実施しています。みなさんの先輩からの貴重な意見を右のようにまとめました。この指針にそって、より有意義な教養科目の履修を願ってやみません。

教養教育はつまらない、無駄だという言葉をよく耳にしますが、それは誤りです。みなさんが追究する専門分野の科目に加えて、文系学生に理系の考え方を、理系学生に文系の考え方を身につけてもらい、深くて豊かな知性をもった人間として、社会で活躍してもらいたいです。

1. 教養とは何かを知ろう

- 「教養とは何か」を自ら考えてみましょう。
- 他の学問・分野を知り、多様なものの考え方を学びましょう。
- 自分を見つめるきっかけにしましょう。

2. 履修する科目を探そう

- 「単位を取りやすい科目」ではなく、「学びたい科目」を取りましょう。

3. 能動的に学ぶ姿勢を持とう

- 「なぜ？」という「問い」を立ててみましょう。
- 自ら求めて門を叩いて学ぶ姿勢を持ちましょう。

4. マナーを守ろう

- 基本的な社会ルールを身につけ、「学習マナー」を守りましょう。

単位制度

- (1) 授業科目の学修を数量的に表すために「単位」という概念が使われています。
- (2) 授業科目の形態・コマ数により、単位の計算方法はそれぞれ異なります。全学共通教育科目の単位及び授業時間数は次のとおりです。1コマ（90分）は2時間として計算されます。

科目区分	単 位	授業時間数
初年次セミナー，人文科学，社会科学，自然科学，岐阜学，スポーツ・健康科学，言語と文化（講義科目），連携開設科目	2単位	週 2 時間・1 学期 15 週 計 30 時間
英語，言語と文化（演習科目（第二外国語）），社会人リテラシー，数理・データサイエンス・AI	1単位	週 2 時間・1 学期 15 週 計 30 時間

* 1 回の授業に対して、2 単位科目は 180 分間の授業外学修が、1 単位科目は 45 分間の授業外学修が求められます。

全学共通教育科目

大学では、「専門」について系統的に学ぶとともに、社会人として必要な学術文化の知的な蓄積である「教養」を学ぶことが必要とされます。本学では、この目的を達成するため、4年（医学部医学科及び応用生物科学部共同獣医学科では6年）一貫教育体制のもとに、教養教育と専門教育を並行して履修します。教養教育の主要な目的は、「科学の諸分野について正しく理解し、多様な知識を身につける」だけでなく、「広い視野を持って自主的・総合的な判断をする能力を育成すること」、「豊かな人間性を養うこと」が含まれています。このように位置づけられた教養教育では、全学体制のもとに設けられた「教育推進・学生支援機構」が担当する科目「全学共通教育科目」と、専門教育への架け橋として各学部（地域科学部、医学部看護学科、社会システム経営学環を除く）が担当する「学部等開講科目」を教養科目として配置しています。全学共通教育科目は、次表のように初年次セミナー、人文科学、社会科学、自然科学、岐阜学、スポーツ・健康科学、英語、言語と文化、社会人リテラシー、数理・データサイエンス・AI、日本語・日本事情に区分けしています。

全学共通教育科目の一覧

授業科目区分			内 容
教 養 科 目	全学共通教育科目	初年次セミナー	高校生から大学生に飛躍するために必要な知識や心構えを学びます。
		人文科学	各学問分野の基本的内容の理解を深め、様々な総合的理解を獲得するための能力の育成を目指す科目です。
		社会科学	
		自然科学	
		岐阜学	多様な諸科学の視点から「岐阜」を含む地域を共通のテーマとして学際的にアプローチする科目です。
		スポーツ・健康科学	生涯にわたり心身共に健康で豊かな生活を送るために、身体活動（スポーツや身体運動）や健康に関する科学的な知識と考え方を学習するとともに、その方法としての体づくりや基本的な技能の獲得を目指す科目です。
		英語	国際化社会におけるコミュニケーション能力と多文化理解による視野の広さを身につける科目です。
		言語と文化	
		社会人リテラシー	学生生活や社会人として必要となる知識や心構えを身につける科目です。
		数理・データサイエンス・AI	情報化社会に対応する基礎的な能力を身につける科目です。
		自由選択科目	興味を持った分野をさらに究める科目です。全学共通教育科目のいずれかから選択します。（ただし、初年次セミナー、日本語・日本事情は含まない）
	学部等開講科目	日本語	外国人留学生等向けの日本語教育で、専門の基礎となる学習を行う科目です。2単位までは1つの「言語と文化」第二外国語（演習科目）の単位に振り替えることができます。
		日本事情	外国人留学生等向けの日本事情教育で、日本の社会、歴史、文化の特質等への理解を深めることを目指す科目です。6単位までは「人文科学」、「社会科学」、「岐阜学」又は「言語と文化」（講義科目）の単位に振り替えることができます。
	学部等開講科目	教養基礎	教養科目の中でも、特に各学部（地域科学部、医学部看護学科、社会システム経営学環を除く。）の専門の基礎科目に接続しており、専門教育と教養教育の架け橋とも言える科目です。

授業のこと、履修のながれ

キャリア・就職支援のこと

学生生活を豊かにするために

岐阜大学の国際交流について知ろう

大学の施設を知ろう

オンライン（遠隔）授業の科目

「社会人リテラシー」と「数理・データサイエンス・AI」の一部の科目は、インターネットを介したオンライン（遠隔）授業として開講され、時間や場所に縛られることなく自身の都合の良い時間・場所にて受講することができます。

「社会人リテラシー」には全学生が必修となる授業科目、「数理・データサイエンス・AI」には一部の学部等の学生が必修となる授業科目が含まれます。詳細は、全学共通教育履修案内やシラバスをご確認ください。

全学共通教育事務局 | MAP C-4 (P4)

連携開設科目

連携開設科目とは、他大学と本学が連携して開設する授業科目のことをいいます。

2023年度から、東海国立大学機構の下、岐阜大学と名古屋大学で連携開設科目が開講されています。

連携開設科目は、全学共通教育科目の卒業に必要な最低修得単位数に含むことができますが、卒業単位数に含めることができるのは、専門科目の連携開設も合わせて上限30単位までです。

詳細は、全学共通教育履修案内及び全学共通教育事務局からの通知をご確認ください。

地域協学センター | MAP C-4 (P4)

次世代地域リーダー育成プログラム

「地域（岐阜）を知り」、「地域（岐阜）の課題を見つけ」、「地域（岐阜）の課題解決に向けて行動する」能力、すなわち、「地域リテラシー」を備え、地域で実践的に活躍し、地域の中でリーダーシップを発揮できる人材ならびにリーダーを支援する人材である「地域リーダー」を育成・輩出することを目的・目標とするプログラムです。

初級段階では専門的能力を実践的に応用して活動するために、基盤的能力における進める力、伝える力、考える力の基礎的な素養や能力を身につけ、上級段階では地域社会を活動の場とし、基盤的能力を活かして、より実践的に専門的能力を応用するための実行力を身につけることを目指します。

学生は、関係者との交流や現場での体験等を通じて、地域の現状把握や課題解決に貢献できる知識・行動力・コミュニケーション能力など、社会に出てから役立つ実践力を習得します。

修得すべき単位数

(1) 学部等別の必要修得単位数

各学部等で、最低限必要な教養科目の単位数は、次のとおりです。

科目区分		最低修得単位数							科目区分	最低修得単位数	
		教育学部	地 域 科学部	医学部		工学部	応用生物科学部	社会		応用生物科学部	
				医学科	看護学科		応用生命・ 生産環境	システム 経営学環		共同 獣医学科	
全学共通 教育科目	初年次セミナー	2 単位							大学教育導入科目群 (学部等開講科目を含む)	6 単位	
	人文科学	4 単位							人文・社会科学科目群	6 単位	
	社会科学	4 単位							自然科学科目群 (学部等開講科目を含む)	10 単位	
	自然科学	4 単位	4 単位	4 単位	4 単位	4 単位	2 単位	4 単位	複合領域科目群 (学部等開講科目、岐阜学、ス ポーツ健康科学、社会人リテラシー、 数理・データサイエンス・AIを含む)	7 単位	
	岐阜学	2 単位	4 単位	2 単位	2 単位	2 単位	2 単位	4 単位			
	スポーツ・健康科学	2 単位									
	英語	4 単位									
	言語と文化	2 単位	4 単位	2 単位	2 単位	2 単位	2 単位	2 単位			
	社会人リテラシー	1 単位							外国語科目群	英語	6 単位
数理・データサイエンス・AI	1 単位	1 単位	1 単位	1 単位	1 単位	1 単位	1 単位	2 単位	第二外国語※2	2 単位	
自由選択科目※1	4 単位	2 単位	6 単位	4 単位	2 単位	2 単位	－		合 計		37 単位
学部等 開講科目	教養基礎	6 単位	－	4 単位	－	6 単位	12 単位	－			
合 計		36 単位	32 単位	36 単位	30 単位	34 単位	38 単位	29 単位			

※1 「自由選択科目」は、全学共通教育科目から選択します。ただし、「初年次セミナー」、「日本語・日本事情」及び「学部等開講科目」から選択することはできません。

※2 「言語と文化」(講義科目)の2単位科目から選択します。

- (2) 全学共通教育科目は複数の科目区分に分類され、さらに複数の分野、複数の科目名、複数の授業名に分類し開講されています。同じ科目名では1つの授業名しか上記の単位として認定されませんので注意してください。
- (3) 人文科学、社会科学、自然科学の科目については、【異分野からの学び】を重要視します。そのため、同一分野での複数の授業科目の単位を修得した場合、当該科目区分の最低修得単位数には1科目分のみ算入されます。同一分野の2科目以降の修得単位については、自由選択科目の単位として、算入することができます(ただし、学部等によって自由選択科目に算入できる単位数は異なりますので、全学共通教育事務室または各学部等の事務室へ相談にきてください。)ので注意してください。
- (4) 1つの学期に履修できる単位数

1つの授業科目に対して、十分な予習・復習ができるようにするため、履修申請(登録)できる授業科目数には上限が設けられています。1つの学期に履修申請(登録)できる単位数の上限は、次のとおりです。

教養科目の履修制限

学部・学科等 学期・科目		教育 学部	地 域 科学部	医学部		工学部	応用生物科学部		社会
				医学科	看護学科		応用生命・ 生産環境	共同獣 医学科	システム 経営学環
前学期	全学共通教育科目	18	18	24	22	18	19	19	19
	学部等開講科目	－	－	3	－	4	11	11	－
後学期	全学共通教育科目	16	18	24	20	16	23	17	19
	学部等開講科目	－	－	1	－	－	－	13	－

授業のこと、
履修のながれ

キャリア・
就職支援のこと

学生生活を
豊かにするために

岐阜大学の国際交流に
ついて知ろう

大学の施設を
知ろう

Webシラバス

授業計画は、Webシラバスに掲載されています。変更等があった場合、随時更新されます。

必ずWebシラバスを確認し、履修要件等を理解して履修申請を行ってください。WebシラバスのURLは、<https://alss-portal.gifu-u.ac.jp/campusweb/syllabus.html> です。岐阜大学のホームページ (<https://www.gifu-u.ac.jp/>) の「在学生の方へ」学習支援システムについて「学習支援システム (TACT, 学務情報システム他)」 「Webシラバス」からもアクセスできます。



気象警報発表時及び交通障害時における授業の取扱いについて

気象警報発表時及び交通障害時における授業の取扱いについては以下となります。

岐阜大学（附属学校を除く。）では、「特別警報」^(注1)・「暴風警報」発表時及び公共交通機関の運行停止時の授業・試験（以下、授業等という。）の取扱いは、次のとおりとする。

1. 気象警報発表時の取扱い

(1)岐阜市に「特別警報」又は「暴風警報」が発表された場合は、原則として警報発表時以降の授業等を休講とする。

ただし以下のとおり警報が解除された場合は、授業等を実施することとする。

①発表された警報が、午前6時までに解除された場合は、全日の授業等を実施する。

②発表された警報が、午前10時30分までに解除された場合は、午後の授業等を実施する。

(2)特別警報・暴風警報の発表を待たずに、大型台風などの接近や、その他の気象警報などにより著しく岐阜市において気象状況の悪化が予測される場合、キャンパス及び周辺地域において市町村等から避難指示・緊急安全確保が発令された場合の対応は、副学長（教育担当）の判断により決定する。

2. 災害又はストライキ等による交通障害時の取扱い

(1)災害又はストライキ等により、東海道本線の名古屋－大垣間、名鉄本線の名鉄名古屋－名鉄岐阜間（以下、「両鉄道区間」という。）が共に運休した場合又は岐阜駅からのバスが運休した場合は、運休開始以降の授業等を休講とする。

ただし、以下のとおり運休が解除された場合は、授業等を実施することとする。

①午前6時までに運休が解除された場合は、全日の授業等を実施する。

②午前10時30分までに運休が解除された場合は、午後の授業等を実施する。

(2)(1)の両鉄道区間又はバスにおいて、著しい気象状況の悪化やその他の理由により事前に運休が予測される場合（計画運休を含む）の対応は、副学長（教育担当）の判断により決定する。

3. 岐阜市外において授業等を実施する場合の対応

岐阜市外において授業等を実施する場合、その実施場所において、「特別警報」又は「暴風警報」が発

表された場合は、上記1に準じた取扱いとする。

4. 上記1～3によりがたい場合は、学長及び副学長（教育担当）が協議の上決定し、各学部へ通知する。

5. 学生の対応

- (1)居住地又は通学経路内において「特別警報」又は「暴風警報」が発表されている場合には、原則として登校しないこととする。
- (2)通学経路内において運休が生じた場合、通学時間帯を含む計画運休が発表された場合又は通学に際して身体の危険を感じた場合には、無理な登校をしないこととする。
- (3)授業開始以降に災害が発生した場合や、警戒レベル3以上の避難情報等が発令された場合には、交通機関の運行状況、居住地の安全状況を各自確認し、安全が確保されるまで学内に一時避難するものとする。

6. 情報の収集と提供

上記1～3により授業を休講する場合は、原則、本学のホームページに掲載するものとするが、1. (1) ①の午前6時現在については、ホームページへの掲載が遅れることが予想されるので、各自がテレビ・ラジオ・インターネット等で確認するものとする。

7. 遠隔授業等の取扱い

上記1～3に関わらず、対面形式によらないインターネット等を活用した授業等の取扱いは、以下の各号のとおりとする。

- (1)オンデマンド型^(注2)の遠隔授業等は、休講としない。
- (2)同時配信型^(注3)の遠隔授業等は休講としない。ただし、当該遠隔授業等を行う教員が休講とする場合は、この限りではない。
- (3)上記(1)、(2)以外の形式を用いた遠隔授業等は休講としない。ただし、当該遠隔授業等を行う教員が休講とする場合は、この限りではない。
- (4)災害により居住地において身体の危険を感じた場合、遠隔授業等の無理な受講をしないこととする。

8. 災害後の対応

- (1)上記5. (1)(2)及び7. (4)により登校又は受講ができなかった場合、学生はその旨を後日遅滞なく担当教員及び授業等実施部局の学務担当係に申し出ることとする。
- (2)上記(1)に基づき欠席等を申し出た学生に対して、授業等実施部局は必要な措置を講ずるものとする。

(注1)「特別警報（気象）」は、警報の発表基準をはるかに超える大雨、暴風、暴風雪、大雪などに対して発表される。

(注2)「オンデマンド型」とは、学習管理システム（TACT等）等を用いて、授業等を行う教員が授業資料や音声、動画などを受講者に提示し、受講者がそれを用いて非同時進行的に学習する授業等の形式を指す。

(注3)「同時配信型」とは、Web会議ソフトウェア等を用いて、授業等を行う教員が離れた場所にいる受講者に対して同時進行的に行う授業等の形式を指す。（これに加え参加者が相互に交信を行う双方向同時配信型を含む。）



授業のこと、
履修のながれ

キャリア・
就職支援のこと

豊かになるために
学生生活をする

岐阜大学の国際交流に
ついて知ろう

大学の施設を
知ろう

単位認定

各種英語資格試験及びサマースクール等の語学研修による英語科目の単位認定

英検（実用英語技能検定試験）、TOEFL（Test of English as a Foreign Language）、TOEIC（Test of English for International Communication）等で一定の成績基準を満たした学生に対して、全学共通教育科目の英語の単位を修得したものととして認定する制度があります。学内で実施するTOEFL-ITPはTOEFLの成績基準に、TOEIC-IPはTOEICの成績基準に準じて認定します。

また、定められた基準を満たしたサマースクール等の語学研修を修了した学生に対して、全学共通教育科目の英語の単位を修得したものととして認定する制度もあります。単位認定された科目は、GPT及びGPAの計算対象外となります。

詳細については、全学共通教育科目履修案内を参照してください。

放送大学を利用した単位修得

放送大学を利用した単位修得とは、放送大学学習センター及びCS放送（テレビ・ラジオ）等による授業と単位認定試験を受けて修得した単位を、全学共通教育科目の単位として認定することです。履修する放送大学の科目は、各学期ごとに履修申請できる単位の上限に含まれますので事前に全学共通教育事務局窓口まで申し出てください。

履修申請（登録）方法や申請期間、履修制限等の詳細は、全学共通教育の掲示等でお知らせします。専門科目として履修を希望する場合は、所属学部等で確認してください。

ネットワーク大学コンソーシアム岐阜における単位互換制度

岐阜大学は、岐阜県内の大学等で構成された「ネットワーク大学コンソーシアム岐阜」に参加しています。コンソーシアムの参加大学で開講される様々な科目を履修し、単位修得した場合、岐阜大学の単位として認定されます。

全学共通教育科目として履修する「ネットワーク大学コンソーシアム岐阜」の科目は、各学期ごとに履修申請できる単位の上限に含まれますので事前に全学共通教育事務局窓口まで申し出てください。（ただし、専門科目として履修する場合は、所属学部等で確認してください）。

履修申請（登録）方法や申請期間は、「ネットワーク大学コンソーシアム岐阜」のホームページ<<https://www.gifu-uc.jp/>>で確認してください。



<<https://www.gifu-uc.jp/>>



履修に関する基礎用語

用 語	内 容
履 修	各授業科目の講義、演習及び実験等の授業に出席し、各自の自習を含めて学ぶこと。
履修登録	履修する授業を登録すること。ネットワークに接続されているパソコン等から申請期間内に履修科目の登録が必要です。履修登録しないと授業に参加できません。
受 講	各授業科目の講義、演習及び実験等の授業を受けること。
修 得	授業科目を履修した上で、定期試験等を受験するなどして単位が認定された場合のこと。 なお、原則として授業時間数の2/3以上出席しないと試験が受験できず、単位が修得できません。
必 修	必ず履修して、その単位を修得しなければならない授業科目のこと。
選択必修	定められた一定の範囲の授業科目の中から必ず履修して、その単位を修得しなければならない授業科目のこと。
選 択	定められた一定の範囲の授業科目を自由に選んで受講し、その（一定の範囲の）中から定められた単位数を修得すればよい授業科目のこと。
不合格判定	履修した授業科目について、定期試験等を受験したが、成績表に「不可」あるいは「D」の成績評価がつくこと。単位の上では未修得となります。
履修取消	履修登録した授業の登録を取り消すこと。授業についていけない、授業内容が期待していたものと異なるなど、理由によっては履修登録を取り消すことができます。決められた期間内に申請してください。ただし、抽選で落選者が出た科目は取消ができません。
再履修	不合格判定（履修放棄を含む）となった授業科目を、もう一度授業に出席して履修すること。
追試験	やむを得ない理由により、試験をできなかった科目について、実施される試験のこと。
再試験	試験を受験した結果、不合格となった科目について、再度実施される試験のこと。
異議申立	自分の成績に対し、異議を申し立てること。自分の成績に納得できない場合には照会することができます。ただし、決められた期間内に申請する必要があります。
GPA Grade Point Average	学生の学修成果を評価する方法として、授業科目ごとの成績評価を5段階（秀、優、良、可、不可）で評価し、それぞれに対して4・3・2・1・0のグレード・ポイントを付与し、この単位当たり平均値として算出された値のこと。
シラバス	各授業科目の詳細な授業計画のこと。一般に、授業名、担当教員名、講義目的、各回の授業内容、成績評価方法・基準、準備学修等についての具体的な指示、教科書・参考文献、履修条件等が記されており、学生が各授業科目の準備学修等を進めるための基本となるもの。

授業のこと、
履修のながれ

キャリア・
就職支援のこと

学生生活を
豊かにするために

岐阜大学の国際交流に
ついて知ろう

大学の施設を
知ろう